

TOTO

東陶機器株式会社

【修理を依頼する前に「故障かな?!と思ったら」(P16~P26)をご確認ください!】

修理・取り扱いのご相談は

まずお求めの取付店・販売店へ

取付店
販売店

電話

印

転居や贈答品などでお求めの取付店・販売店へご相談できない場合は下記TOTO窓口へ

商品の
お問い合わせは

TOTOお客様相談室へ
TEL 0120-03-1010
FAX 0120-09-1010
 受付時間: 平日 9:00~18:00
 土・日・祝日 10:00~18:00
 (夏期休暇・年末年始を除く)

お客様専用窓口
補修用部品の
ご購入は

TOTOパーツセンターへ
TEL 0120-8282-55
FAX 0120-8272-99
 受付時間: 平日 9:00~18:00
 土・日・祝日 10:00~18:00
 (夏期休暇・年末年始を除く)

修理の依頼・
お問い合わせは

東陶メンテナンス(株)へ
TEL 0120-1010-05
FAX 0120-1010-02
 受付(年中無休)
 受付時間: 関東・甲信越地区 8:00~20:00
 : 上記以外の地区 9:00~20:00
 訪問修理(年中無休)
 営業時間: 9:00~18:00

インターネットホームページ <http://www.toto.co.jp/>

TOTO

工事店さま
へのお願い

貴店名ならびに取付日を保証書に
ご記入の上、お客様にお渡しください。

タンク密結形便器

はじめに
安全上の注意..... 1~6
各部のなまえ..... 7

つかいかた
ご使用方法..... 8~10
使用上の注意..... 11

お手入れ
日頃のお手入れ..... 12~15
定期点検のおすすめ..... 15

こんなときは
故障かな?!と思ったら..... 16~26
便器のQ&A..... 27~28
アフターサービス..... 29~30

定格について..... 31
保証書..... 33~34
お問い合わせ先..... 裏表紙

安全上の注意

(安全のために必ずお守りください)

ご使用前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保存してください。
- この説明書では、商品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や、財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようにになっています。

表示	意味
⚠ 警告	この表示の欄の内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または、重傷を負うことが想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示の欄の内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負うことが想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■お守りいただく内容を、絵表示で区分し、説明しています。

絵表示の例	絵表示の意味
	してはいけない「禁止」の内容です。 左図は「禁止」を示します。
	必ず実行していただく「強制」の内容です。 左図は「必ず実行」を示します。

品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

⚠ 警告		
	水場使用禁止	水がかかるたり、表面に結露を生じるような浴室などでは、使用しない 故障・漏電の原因になります。
	ぬれ手禁止	ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない 感電の原因になります。
	禁止	コンセントや配線器具の定格を超える使いかたをしない たとえ配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

⚠ 警告		
	電源コードを無理な力(曲げ・折れ・ねじれ)で傷つけたり、加工を行わない	
	火災の原因になります。	
	電源プラグに水をかけたり、酸性やアルカリ性洗剤およびシンナーなどは使用しない	
	火災や感電、故障(損傷)の原因になります。	
	ヒーター用プラグの電源は、交流100V以外では使用しない	
	交流200Vや直流電源を使用しますと火災や故障の原因になります。	
	ガタついているコンセントは使わない	
	火災や感電の原因になります。	
	電源プラグ本体をお手入れの際は必ずコンセントから抜く 感電の原因になります。	
	必ず実行	
	電源プラグを抜くときは、必ずプラグ本体を持って引き抜く コードを引っ張ると、プラグやコードが傷んで火災や感電の原因になります。	
	必ず実行	
	電源プラグの刃などに付いたホコリは定期的に取り除き、根元まで確実に差し込む 火災や感電の原因になります。 プラグを抜き、乾いた布でふいてください。	



禁止

！注意

便器には、汚物、トイレットペーパー以外のものは流さない

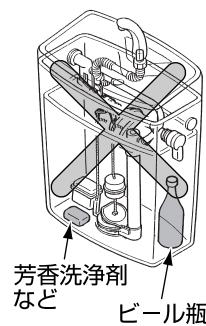
便器が詰まり、汚水があふれて家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



芳香洗浄剤、ビール瓶などは、タンク内に入れない

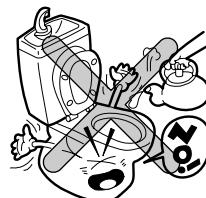
水量が減少し、便器や排水管の詰まりなどになるおそれがあります。

また、内部の部品にあたり、止水、吐水不良になるおそれがあります。



便器や手洗鉢の中に熱湯を注がない

便器が破損してけがをしたり、漏水して家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



手洗鉢の中には、物を置かない

手洗鉢から水があふれたり、飛散して家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。また、タンク内に物が落ちて便器が洗浄不良になるおそれがあります。



！注意

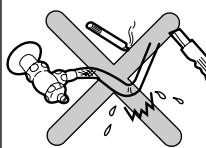
陶器に衝撃を与えない

陶器が破損してけがをしたり、漏水して家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



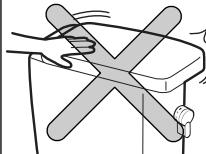
給水フレキホースを無理に折り曲げたり、タバコの火やカッターなどで傷をつけない

給水フレキホースが損傷し、漏水して家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



タンクのふたは強く押したり、引いたりしない

ふたが落下してけがをしたり、器具を破損するおそれがあります。



塩素系洗浄芳香剤を使用しない

内部金具を傷め、止水不良など不具合を発生させるおそれがあります。



陶器部にヒビが入ったり、割れた場合、破損部は絶対に触らない

破損部でけがをするおそれがあります。早めに交換してください。

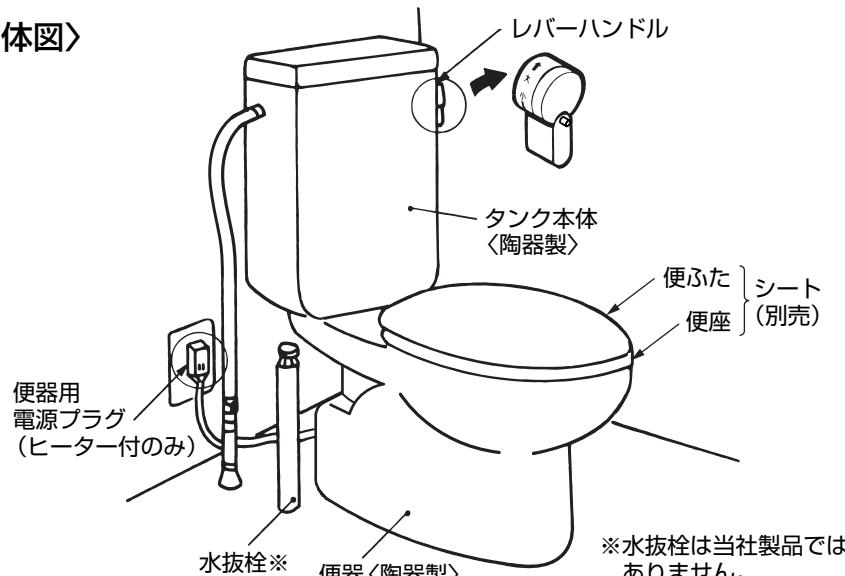


△ 注意	
禁止	便ふたや便座の上に乗らない 破損してけがをするおそれがあります。
分解禁止	分解は決められた項目(P16~P26) 以外は行わない 器具が破損し、けがをしたり、漏水して家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。
必ず実行	雷が発生しているときや、凍結のおそれのないときは、ヒーター用プラグを抜く 凍結が予想される際は8ページの「凍結予防方法」に従って、凍結予防を行う 凍結破損でけがをしたり、漏水して家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。
必ず実行	点検、分解などを行う場合には必ず当説明書の該当ページを見て手順通りに行う 手順通りに行わないと、破損や漏水して家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

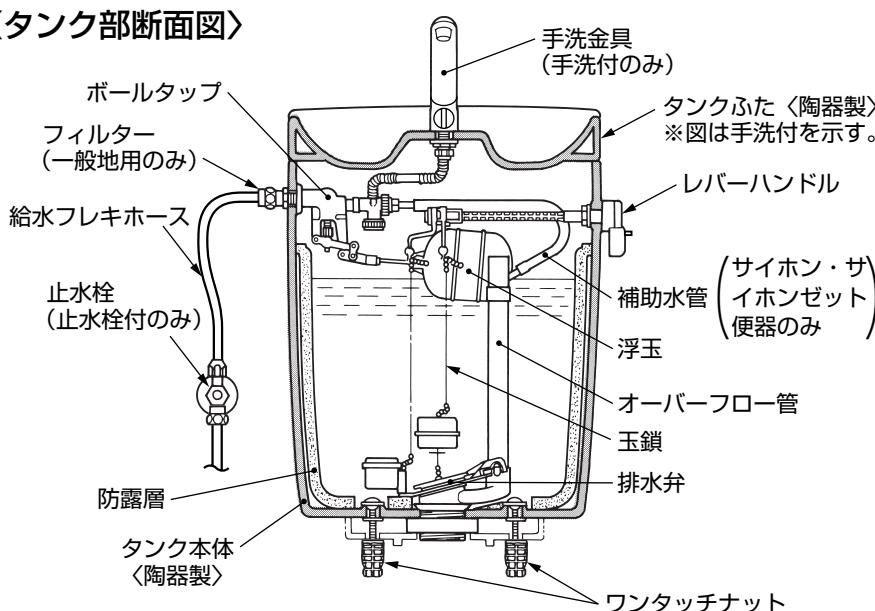
△ 注意	
必ず実行	タンクふたを外して、点検、分解などを行うときは必ず止水栓を閉め、タンクの水を流してから行うこと 止水栓を閉めないと水が噴き出します。
必ず実行	便器が詰まった場合、市販の吸引器(商品名:ラバーカップなど)で詰まりを除去する 詰まった状態で水を流すと汚水があふれて、家財などをぬらすおそれがあります。
必ず実行	便器から飛び出した小便やお掃除の際、床に落ちた洗剤・水はよく絞ったぞうきんでふき取る 床にシミを作ったり、腐らせたりするおそれがあります。
必ず実行	便器やタンク及び給水管や止水栓の表面が結露した場合、乾いた布でふき取る 床にシミを作ったり、腐らせたりするおそれがあります。
必ず実行	調圧弁を取付けていない場合、元バルブを操作してタンクへの流入量を調節する 流量が多すぎると、ボールタップが故障したとき、オーバーフロー管から流れきれず、タンクからあふれて床を水びたしにしたり、階下に被害を及ぼすことがあります。 また、使用水量が多くなります。 ※P10の「タンクから水をあふれさせないために」に従って調節してください。

各部のなまえ

〈全体図〉



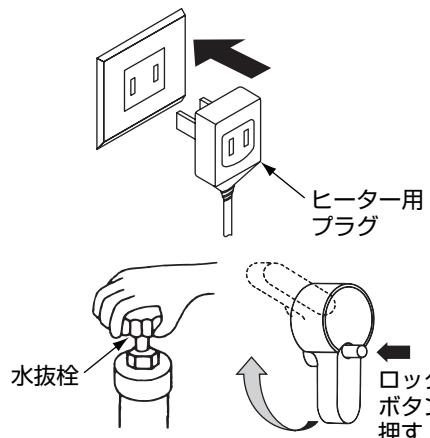
〈タンク部断面図〉



ご使用方法

凍結予防方法

水抜方式の場合



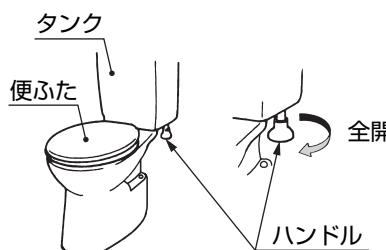
1.ヒーター用プラグをコンセントに差込んでください。

2.タンクや給水管中の水は水抜栓を閉じたのち、レバーハンドルのロックボタンを押して、レバーを手前側に引いてロックされるようにして、水抜してください。

3.便座にカバー（シートカバー・ふたカバー）をしているときは、便ふたを開けておいてください。

※ヒーターの熱で便器内の水が蒸発し、カバーがぬれることができます。

流動方式の場合



1.タンクの下に取り付けてある流動金具のハンドルを全開にしてください。

2.便ふたを閉めておいてください。

※便ふたを閉めない場合、便器に氷がはり、1回の洗浄で氷が流れていかない場合があります。

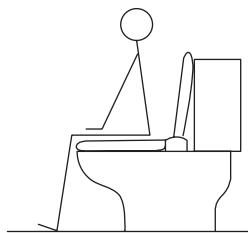
●この便器の凍結予防限界温度は、
〔水抜方式：-15°C、流動方式：-10°C〕です。
限界温度以下になる場合は、暖房などにより、限界温度以上の室温に保ってください。



長期間使用しない場合

長期間使用しないときは、ヒーター用プラグを抜いておいてください。また、万一の凍結による破損防止のため、給水管の水、およびタンク内の水を必ず抜いてください。
便器内にたまっている水は、不凍液を入れるなどして凍結しないようにしてください。

便器のつかいかた

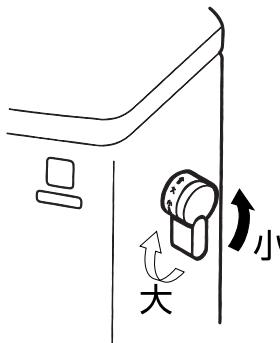


便ふたを上げ、便座に腰掛けて使用してください。

※小便の際は、小便が便器外へ飛び出さないよう注意してください。
立小便をすると、便器外へはねる場合があります。
便器にたまつた水などに小便が当たり、発生するものです。
座って小用をすることで、はね返りを軽減することができます。

水の流しかた

使った後は、必ずレバーハンドルを正しく操作して水を流してください。



大便の場合

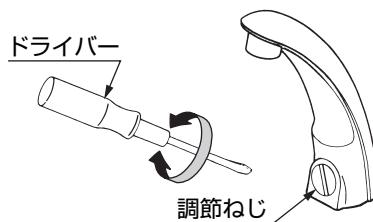
レバーハンドルを手前に引いてください。

小便の場合

レバーハンドルを奥に押してください。

手洗金具の吐水量調節（手洗付の場合）

〈流動・水抜方式のみ〉

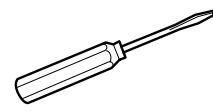


ドライバーなどで調節ねじを回して、適量な吐水量に調節してください。

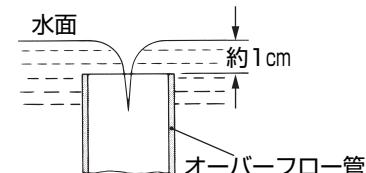
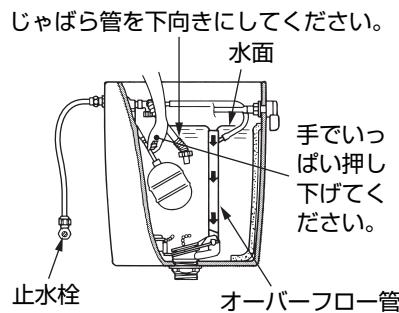
タンクから水をあふれさせないために

万一ボールタップの故障で水がとまらない場合でもタンクから水があふれないようにするために次の要領で調節を必ず行ってください。

使用工具



マイナスドライバー



1. 止水栓を閉めてください。

※P16の『緊急時の水の止めかた』を参照してください。

2. タンクふたを外してください。

※P17の『タンクふたの外し方』を参照してください。

3. 手洗付の場合は、左図の要領で水が飛び散らないように、じゃばら管を下向きにしてください。

4. 止水栓を全開にし、浮玉を押しさげオーバーフロー管へ水をあふれさせます。

このとき、水面がオーバーフロー管上端より1cm以上上昇しない程度に止水栓で調節してください。

※止水栓のない場合は、他の水栓の吐水量に支障のない程度に元バルブを絞ってください。

使用上の注意

(次のことをお守りください)

- 汚物やトイレットペーパーの量に応じて<大><小>を使い分けてください。
便器が1回に流せる汚物やトイレットペーパーの量には限界があります。



豆知識

<大>の目安：大便約250gとトイレットペーパー約10mまで流せます。

<小>の目安：小便とトイレットペーパー約3mまで流せます。

これ以上の汚物やトイレットペーパーを流すと便器が詰まるおそれがあります。

- 必ずタンク内が満水になってから流してください。

タンク内が満水になる前に流すと洗浄不良や詰まりの原因となります。

- 小便でも使った後は必ず水を流してください。

そのまま放置すると、小便の成分と水道水の成分が結びついて固まり、便器の洗浄不良や詰まりの原因となります。

- 長期間留守にするときは、止水栓を閉めてお出かけください。

こうしておけば留守中に万一の漏水も起きず安心です。



- 小さなお子様や、お年寄り、身体の不自由な方が使用されるときは、間違った操作や危ないことをしないように十分に注意してください。

日頃のお手入れ

トイレはお手入れ次第で清潔さを保ち、長持ちさせることができます。日頃からこまめにお手入れをしてください。

また、セフィオンテクト品は汚れがつきにくい特長を持っていますが、表面をきれいに保つために、日頃のお手入れが大切です。

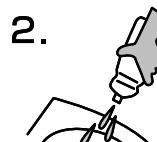
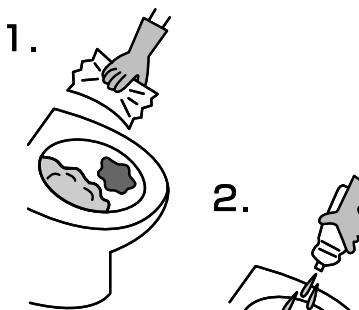
便器のお手入れ

- ちょっとした汚れの場合

掃除用ブラシやスポンジで水洗いしてください。

- しつこい汚れの場合

1. 汚れがついた部分の水分をふき取ってください。



2. 水あかクリーナー、TOTOパウダー(P30参照)、またはトイレマジックリン(R)(研磨剤入りタイプ)を汚れに直接かけてください。

3. 掃除用ブラシやスポンジでこり洗いをしてください。取れにくい場合は割りばしなどを使ってこすり落としてください。

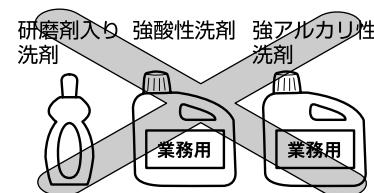
4. 最後に水洗いをしてください。

ワンポイントアドバイス

●掃除用の洗剤について

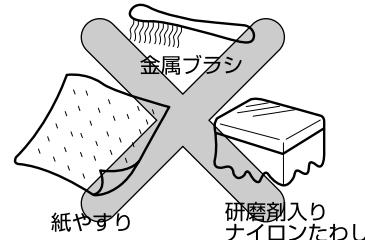
市販の家庭用洗剤であれば、酸性・中性・アルカリ性を問わずに使用になります。ただし、研磨剤入りの洗剤や業務用の強酸性・強アルカリ性洗剤には、陶器表面を傷つけたり、侵したりするものがありますので使用しないでください。

※水あかクリーナー、TOTOパウダー（P30 参照）、またはトイレマジックリン（R）（研磨剤入りタイプ）はご使用いただけます。



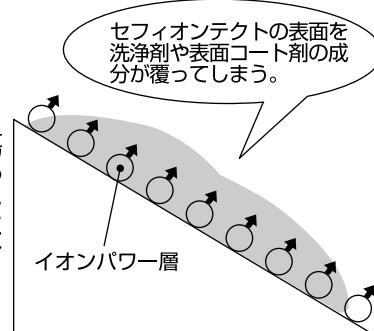
●掃除用具について

金属ブラシや研磨剤入りのナイロンたわし、紙やすりなどは表面を傷つけますので使用しないでください。



●トイレ用芳香洗浄剤や表面コート剤について

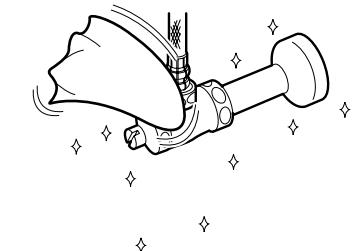
トイレ用芳香洗浄剤や表面コート剤はおすすめできません。セフィオンテクトの場合、陶器表面を傷めることはできませんが、洗浄剤成分やコート剤成分が表面を覆ってしまい、セフィオンテクトの効果が十分発揮できなくなるおそれがあります。



止水栓、レバーハンドル、手洗金具のお手入れ

●ちょっとした汚れの場合

水またはぬるま湯に浸した布をよく絞って、汚れをふき取ってください。



●しつこい汚れの場合

適量にうすめた食器用中性洗剤を含ませた布で汚れをふき取ったあと、からぶきしてください。

ヒーター用プラグのお手入れ

△警告



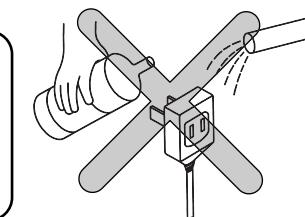
お手入れのときは、必ずヒーター用プラグをコンセントから抜く
必ず実行
感電の原因になります。

●水またはぬるま湯に浸した布をよく絞ってふきとり、その後必ず乾いた布で水気をふきとってください。

△警告



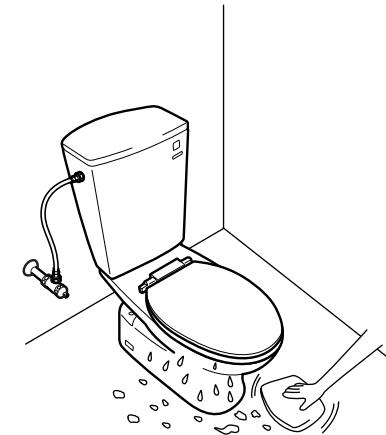
水をかけたり、酸性やアルカリ性洗剤およびシンナーなどは使用しない
火災や感電、故障（損傷）の原因になります。



故障かな?!と思ったら

床のお手入れ

- 便器から飛び出した小便や器具についての露が床に落ちたときは、よく絞ったぞうきんでふき取ってください。



- お掃除の際、床に落ちた洗剤や水もよく絞ったぞうきんでふき取ってください。

△ 注意

床に落ちた小便、露、洗剤、水などは必ずよく絞ったぞうきんでふき取る
必ず実行 放置しておくと床にシミを作ったり、腐らせたりするおそれがあります。

お手入れ

定期点検のおすすめ

- 安全・快適にご使用いただくために、以下の点検をお願いします。

フィルターの詰まり

点検の目安：1回／半年

フィルターの詰まりを掃除してください。

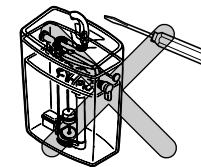
フィルターが詰まると、タンクに水がたまる時間が長くなります。
(手洗付タイプの場合、手洗いの水の勢いも弱くなります)

*掃除の方法は、P19～P20をご確認ください。

△ 注意



分解は、決められた項目以外は行わない



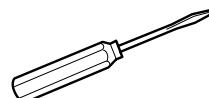
器具が破損し、けがをしたり、漏水して家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

- 修理を依頼される前に、以下のことをお調べになり、それでも直らないときは、お求めの取付店・販売店、または東陶メンテナンス(株)へ修理を依頼してください。
詳しくはアフターサービス(P29参照)をご確認ください。

緊急時の水の止めかた

配管まわりの漏水や、水が止まらないなど、緊急の場合は下図の要領で止水栓または水道の元栓を閉めてください。

使用工具



マイナスドライバー

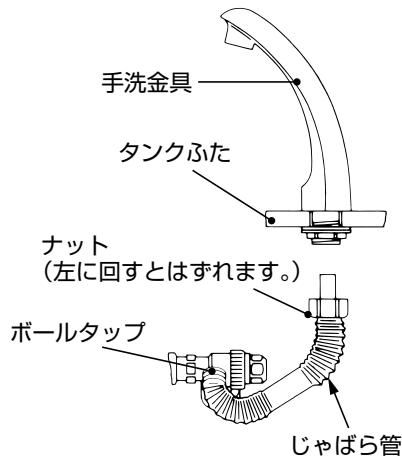
マイナスドライバーで右に回して、止水栓を閉めてください。

※止水栓がない場合は水道の元栓を閉めてください。



こんなときは

タンクふたの外し方



- 止水栓を閉めてください。
※P16の「緊急時の水の止めかた」を参照してください。
- タンクふたを外してください。
※手洗付の場合は、手洗金具とボールタップがじゃばら管で接続されています。タンクふたを少し持ち上げてからナットをゆるめると取り外せます。

△ 注意



タンクふたは落下しないように注意する

必ず実行 割れことがあります。

修理を依頼される前に(各部のなまえはP7でご確認ください)			
現象	状況	処置のしかた	参照ページ
タンクに水がたまらない、またはたまるのが遅い。(目安2分)	止水栓が開いていない。 フィルターにゴミが詰まっている。(一般地用のみ)	止水栓を開いてください。 フィルターの掃除をしてください。	P19 P19~P20
水がとまらない。	オーバーフロー管から水があふれている。 ボールタップの浮玉を持ち上げると水が止まる。	止水位を調整してください。	P21~P22

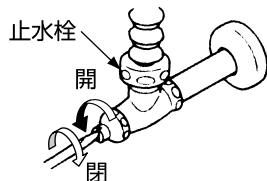
こんなときは

修理を依頼される前に(各部のなまえはP7でご確認ください)			
現象	状況	処置のしかた	参照ページ
水がとまらない。	オーバーフロー管から水があふれている。	オーバーフロー管から水があふれていらないのにボールタップよりときどき吐水する。	排水弁パッキンを交換してください。 P23~P24
便器の水の流れが悪い。	止水位がオーバーフロー管の黒線(標準水位)より低い。	止水位を調整してください。 P21~P22	止水位を調整してください。 P21~P22
床に水が漏れている。	便器に発生した露が床にたれている。	乾いた布で露をふき取って、トイレの換気をしてください。	—
	便器から飛び出した小便が床に垂れている。	飛び出した小便は、ぞうきんでこまめにふき取ってください。	—
タンクがガタつく。	タンクを軽く押すとガタつきがある。	タンク固定金具を締め増ししてください。	P25
給水フレキホース部から漏水する。	—	ナット部を締め増ししてください。 ナット部を締め増ししても漏れる場合は、パッキンを交換してください。	P25~P26
便器が詰まった。	—	市販の吸引器(商品名:ラバーカップ)で、詰まりを除去してください。	P26

こんなときは

止水栓の開閉

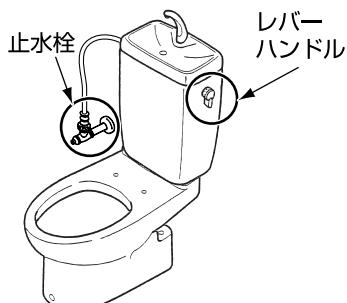
使用工具



マイナスドライバーで矢印の方向に回して開閉してください。

フィルターの掃除（一般地用のみ）

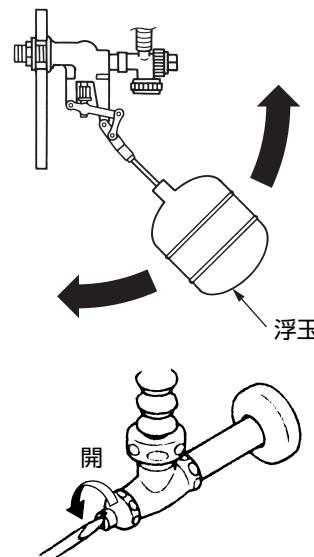
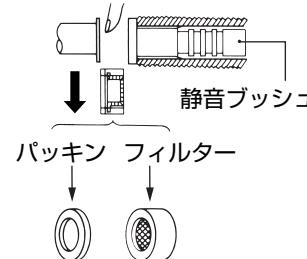
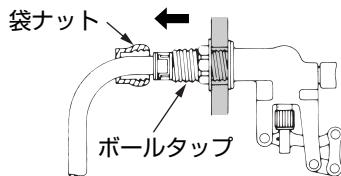
使用工具



1. 止水栓を閉めてから（マイナスドライバーで右に回します）、タンク内の水を流してください。

△ 注意

フィルター掃除をするときは必ず止水栓を閉め、タンクの水を流してから行う
必ず実行 止水栓を閉めないと水が噴き出して家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



2. 袋ナットをモンキーレンチでゆるめ、ナットを横にずらしてください。

3. フィルター部を指で押し下げてフィルターを取り出し、掃除してください。

※フィルターを掃除しても、水の出が悪い時は静音ブッシュをはずしてください。
その場合、接続部には工事店から渡されたパッキンを使用してください。

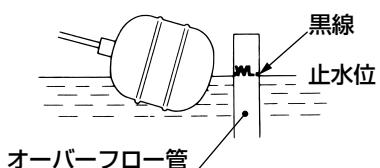
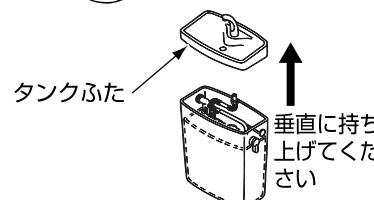
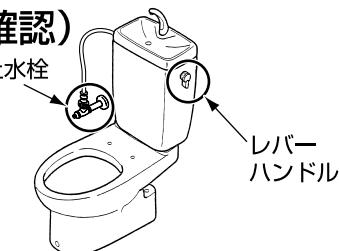
4. フィルター掃除後、元のよう組み込み、袋ナットをモンキーレンチで締め付けてください。

浮玉が上下にスムーズに動くように正しく取り付けてください。

5. 取り付け完了後、止水栓を開き、袋ナット部からの水漏れ及びボールタップがスムーズに動くかを確認してください。

ボールタップ止水位確認及び調整

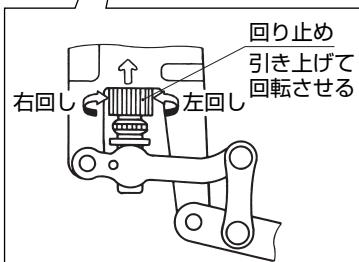
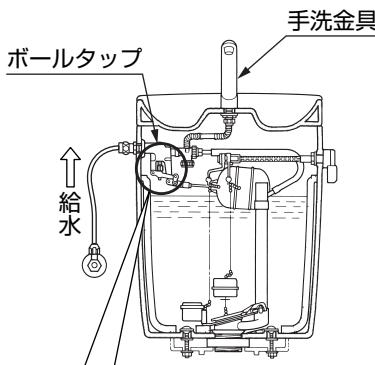
使用工具



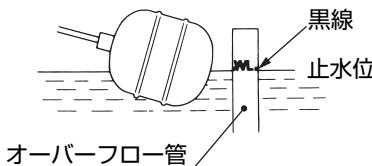
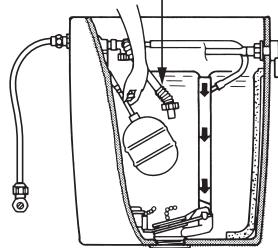
止水位が黒線に合っていない場合

- 黒線から何mm程度水位がずれているかを確認してください。
- タンク内の水を流してください。

(調整)



じゃばら管を下向きにしてください。



- 回り止めを左図のように引き上げて回して止水位を調整してください。

右回し：水位が下がります
左回し：水位が上がります
(半回転で約8mm上下します)

※浮玉を軽く手で押さえておくとスムーズに回ります。

- 手洗付の場合は、水がタンク外へ飛び出さないようにじやばら管を下向きにしてください。

- 止水栓を開けてタンク内に水が溜まった後で止水位の確認をしてください。

- 止水位が合わない場合、再度止水栓を閉めて1~5の作業をくり返してください。

- 黒線に止水位が合ったら、タンクふたを元に戻してください。

※手洗付の場合は、P17の「タンクふたの外し方」を参照し逆の手順で元に戻してください。

排水弁パッキンの交換

使用工具



補修用部品

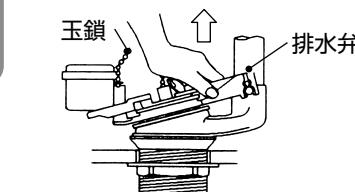
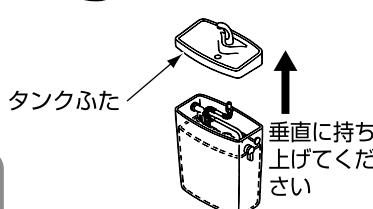
〈パッキン2枚タイプ〉

排水弁パッキン 大側
(93500E) ¥120 (税込 ¥126)

排水弁パッキン 小側
(91942E) ¥75 (税込 ¥79)

〈パッキン1枚タイプ〉

排水弁パッキン 大・小兼用
(93290E) ¥270 (税込 ¥284)
(P30参照)

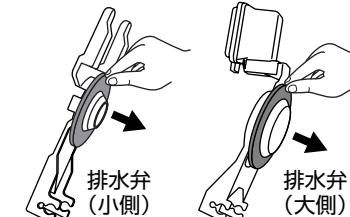


1. 止水栓を閉めてから(マイナスドライバーで右に回します)、タンク内の水を流してください。

2. タンクふたを外してください。
※手洗付の場合は、P17の「タンクふたの外し方」を参照してください。

3. 左図のように排水弁の根元を持ち、上向きに引き上げて外してください。

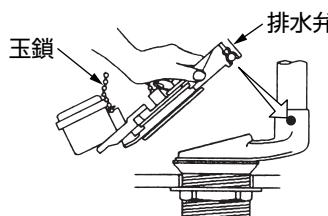
排水弁にパッキンが2枚付いている場合



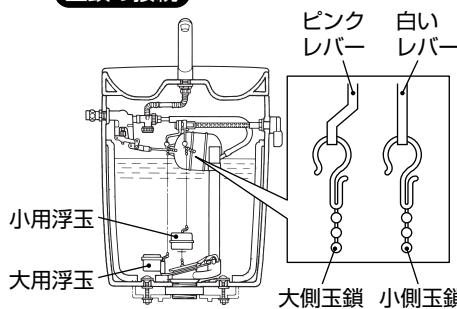
排水弁にパッキンが1枚付いている場合



※パッキンは大側・小側兼用です。



玉鎖の接続



①大用浮玉(ピンク浮玉)につながっている玉鎖は、大用レバー(ピンクレバー)につないでください。

②小用浮玉(黒い浮玉)につながっている玉鎖は、小用レバー(白いレバー)につないでください。

4. 古いパッキンの端をつまんでめくるように外してください。

5. 4項と逆の手順で新しいパッキンを取り付けてください。

△ 注意

パッキン面にうねりやごみの付着がないように取り付ける

必ず実行 うねりやごみの付着があると止水不良になります。

6. 排水弁を取り付けてください。玉鎖が外れてしまった場合は、止水不良となりますので左図のように正しく取り付けてください。

△ 注意

玉鎖が交差しないように取り付ける

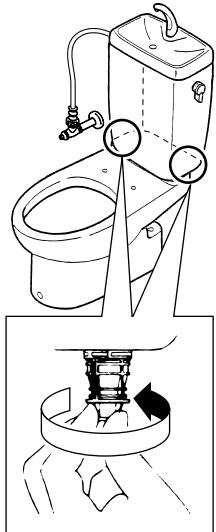
必ず実行 玉鎖が交差したり、排水弁が確実に差し込まれないと止水不良になります。

7. タンクふたを元に戻してください。

※手洗付の場合は、P17の「タンクふたの外し方」を参照し逆の手順で元に戻してください。

8. 止水栓を開き(マイナスドライバーで左に回します)、タンクに給水させて水が止まったことを確認してください。

タンク固定金具の締め増し



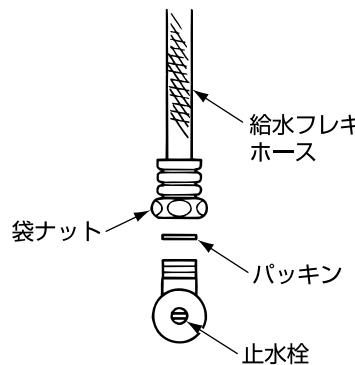
ナットを手で締め増ししてください。

△ 注意



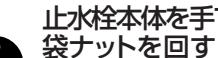
工具は使用しない

工具を使用すると、部品が破損し漏水して家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



2. 袋ナットを締め増ししても漏水が止まらない場合は、パッキンを交換してください。
- 止水栓を閉めます。(マイナスドライバーで右に回します)
 - モンキーレンチで袋ナットを左に回して外し、給水フレキホースを外します。
 - 古いパッキンと新しいパッキンを交換します。
 - 袋ナットを止水栓に接続し右に回して締めます。
 - 止水栓を開き(マイナスドライバーで左に回します)、漏水がないか確認します。

△ 注意



止水栓本体を手でしっかりと押えて、袋ナットを回す

必ず実行

しっかりと押さえていないと、止水栓、給水管が破損し、漏水して家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

給水フレキホースナット部からの漏水対応

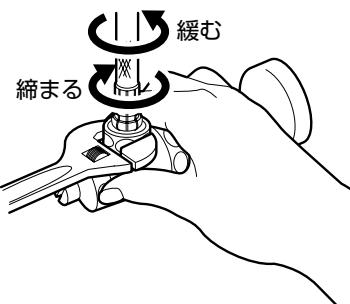
使用工具



補修用部品

パッキン(HF91017)

¥30(税込¥32)
(P30参照)

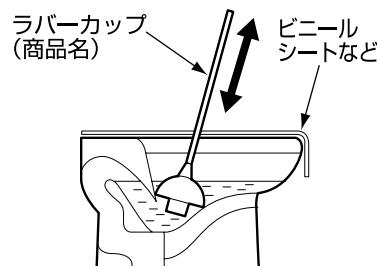


1. 袋ナットを締め増ししてください。

- 止水栓を閉めます。(マイナスドライバーで右に回します)
- モンキーレンチで袋ナットを右に回して締め増しします。
- 止水栓を開き(マイナスドライバーで左に回します)、漏水がないか確認します。

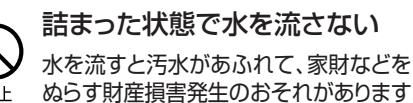
便器の詰まり除去

使用工具



便器が詰まった場合、市販の吸引器(商品名: ラバーカップなど)で詰まりを除去してください。

△ 注意



詰まった状態で水を流さない

水を流すと汚水があふれて、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

ワンポイントアドバイス

周囲に汚水が散らないよう、ビニールシートで便器を覆うことをおすすめします。

便器のQ&A

便器まわりにできる黒いシミの原因は？

立位で小便をする際に、便器内のある場所によっては小便が跳ね返る場合があります。特に、木質系のフローリング床では便器内で跳ね返った小便やお子様などが便器外に飛散させた小便などをそのまま放置されると、小便中のアンモニアによって黒いシミが発生することがあります。また、梅雨時の結露の水も放置されると黒いシミが発生することがありますので、床にこぼれた水分は、すぐにふき取るようにしてください。



トイレを使ったときの、あのイヤな「おつり」はなくせないの？

トイレ使用時の水はね、俗にいう「おつり」や立位小用時の「小便はね」は便器の水たまりがあることが原因です。

汚物の形や量、小便の方向や勢いなどによっては水がはねかえってくることがあります。この水たまりには下水からの臭気を遮断する大切な役目があるため、なくすわけにはいきません。「おつり」の予防としては、水たまりにはあらかじめトイレットペーパーを浮かべておくと多少ですが効果があります。また「小便はね」の予防としては、便器溜水面の中央部に小用をすると多少軽減することができます。

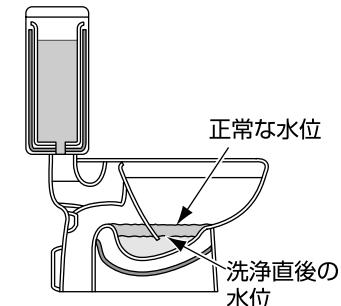


便器内の黒い色やピンク色に変色する汚れの原因は？

便器の溜水部や水出し穴付近などが黒く変色したり、ピンク色の汚れがつくことがあります。これは空気中に浮遊しているカビの胞子やバクテリアが便器に付着した汚れを栄養にして繁殖したもので、汚れた場合は、トイレ用中性洗剤をトイレブラシなどにつけてこすり落としてください。

便器洗浄後、なぜすぐに水は止まらないの？

サイホン作用を利用する便器では、便器洗浄時にサイホンが起こり、便器にたまつた水がほとんどなくなってしまいます。このままの状態では臭気があがってきたり、次の洗浄のときに支障が出るため、元の位置まで水を戻しておく必要があります。そのためこのタイプの便器では、便器洗浄後約1分間水を補給するしくみになっております。また、洗浄後正常な水位に戻った後も、水出穴より少しずつ水が出ることがあります。これは、水出穴内部の表面張力によって残った水が流れ出るもので、故障ではありません。

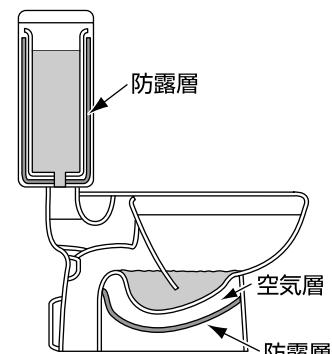


なぜタンクや便器の表面に水滴がつくの？

ガラスのコップに氷水を入れると、たちまちコップが汗をかくように、便器やタンクも汗をかくことがあります。この汗を「結露」といいます。結露は空気中に含まれる水蒸気が、便器やタンクの表面で冷やされることによって凝結する現象です。湿度が高く水温と室温の差が大きいほど発生しやすく、地下水を利用している場合や湿度の高い梅雨時、あるいは冬の暖房時などによく見られます。

ひどい場合には流れ落ちて床までぬらしてしまうこともあるため、すぐにふき取るようにしてください。また換気扇をまわしたり窓を開けたりして、トイレの換気をすれば結露しにくくなります。

※防露便器・防露タンクでも、室温と水温の差が15度以上で室内の湿度が80%に達すると結露することがあります。



＜参考＞防露便器、タンクの構造

アフターサービス

【修理を依頼する前に「故障かな?!と思ったら」(P16~P26)をご確認ください!】

保証書(この説明書のP33~P34が保証書になっています)

- この商品は保証書の内容にしたがって保証されています。取付日、取付店名、扱者印が記入してあることを確認してください。また、保証書の内容をよくお読みの上、大切に保存してください。
- 保証期間は保証書をご確認ください。

保証について

●保証期間中は

保証書の規定にしたがって、修理をさせていただきます。保証期間内でも有料になることがありますので保証書の内容をよくご確認ください。例えば、「取扱説明書、施工説明書、貼付けラベルなどの注意書きにしたがっていない場合の不具合など」は有料になります。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる商品については、ご希望により有料で修理させていただきます。
(例:パッキン・ダイヤフラム等の摩耗劣化部品の交換を含む)
→「修理を依頼されるときは」「修理料金のしくみ」をご確認ください。

部品の交換について

- 無料修理により交換された部品・製品は、東陶機器(株)の所有となります。

補修用部品の供給期間

- この製品の補修用部品(機能維持に不可欠な部品で、使用期間中に取り替えの必要が発生する可能性の大きいもの)の供給期間は、製造中止後10年です。

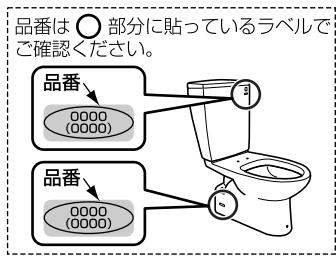
修理を依頼されるときは

【修理依頼先】

お求めの取付店・販売店または東陶メンテナンス(株)(電話番号は裏表紙を参照してください)

【ご連絡いただきたい内容】

- ①住所、氏名、電話番号
- ②商品名
- ③品番
- ④購入日
- ⑤故障内容、異常の状況(どこから水漏れしているかなど)
- ⑥訪問希望日



お客様の個人情報のお取り扱いについて

お客様からお預かりした個人情報は、関連法令および社内諸規定に基づき慎重かつ適切にお取り扱いします。詳細はTOTOホームページをご覧ください。

【ご不明な点や修理に関するお問い合わせ先】

「TOTOお客様相談室」または「東陶メンテナンス(株)」
(電話番号は裏表紙を参照してください)

修理料金のしくみ<東陶メンテナンス(株)にご依頼の場合>

修理料金は **技術料** + **部品代** + **出張料** で構成されています。

技術料 は、診断・故障箇所の修理及び部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品代です。

出張料 は、商品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

補修用部品について

部品名	排水弁にパッキンが2枚付いている場合	排水弁にパッキンが1枚付いている場合	パッキン	水あかクリーナー	TOTOパウダー
形状					
品番	93500E	91942E	93290E	HF91017	TH735
希望小売価格	¥120 (税込¥126)	¥75 (税込¥79)	¥270 (税込¥284)	¥30 (税込¥32)	¥1,000 (税込¥1,050)

●品番や希望小売価格は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

●交換頻度の目安は、使用環境により異なります。

●交換部品を購入されるときは、「TOTOパートセンター」(電話番号は裏表紙を参照してください)にお問い合わせください。

●TOTOパートセンターでご購入する場合●

■お届けについて

ご注文から2週間以内に宅配便でお届けします。

※ご注文が集中し、商品の品切れによりお届け日が遅れる場合があります。あらかじめご了承ください。またお届けが大幅に遅れる場合は、お届け予定日をご連絡いたします。

■お支払いについて

お届けした宅配業者に、商品代、送料、消費税相当額をお支払いください。

※送料の支払い	1回のご注文金額	送料
	¥10,000(税込¥10,500)以上の場合	無料
	¥10,000(税込¥10,500)未満の場合	¥500(税込¥525)

■返品・交換について

交換部品の不良など、当社理由による返品、交換については、商品到着後10日以内にTOTOパートセンターまでご返送ください。送料は当社が負担し部品を送付させていただきます。

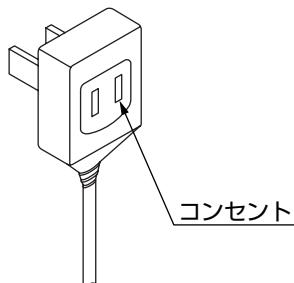
お客様のご都合による返品、交換については、商品到着後10日以内にTOTOパートセンターまでご返送ください。なお送料はお客様負担となりますのでご了承ください。お客様の元で、汚れたり破損した商品や、一度ご使用になられた商品の返品、交換はいたしかねますので、あらかじめご了承ください。

定格について

- ヒーター付便器の定格は以下のとおりです。

定格電源	交流100V 50/60Hz
定格消費電力	36W

- 電源プラグに設けていますコンセントは、以下の定格まで接続出来ます。



定格電源	交流100V 50/60Hz
定格消費電力	1400Wまで

MEMO

●●●●●保証書●●●●●

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。取付日から下記期間中、故障が発生した場合は本書をご提示の上、取付店（または販売店）または東陶メンテナンス（株）（フリーダイヤル TEL 0120-1010-05/FAX 0120-1010-02）に修理をご依頼ください。

お客様	おなまえ 様		
	おところ 〒		
取付店 販売店	〒		
	電話	—	—
取付日	年	月	日

商品名称	タンク密結形便器	
品番	CS 20 系 + SS 30 BF 系、31 BF 系 CS 30 系 + SS 30 BN 系、31 BN 系 他	
基本保証	電気機器	取付日から1カ年
	便器	取付日から2カ年
特定機能の 延長保証	防水機能	取付日から5カ年

防水機能保証範囲例：便器及びタンク陶器本体部の衝撃以外に自然に発生する割れ・ひびによる水漏れ

★お客様へ

・この保証書をお受け取りになるときに、取付日、取付店（または販売店）名、扱者印が記入してあることを確認してください。保証書は再発行致しませんので紛失されないよう大切に保存してください。なお、本書は日本国内においてのみ有効です。

- ・保証期間内でも、次の場合には有料修理になります。
 - (1) 適切な使用、維持管理を行わなかったことに起因する不具合。
 - (2) 弊社が定める施工説明書などに基づかない施工、専門業者以外による分解などに起因する不具合。
 - (3) 建築躯体の変形など商品以外の不具合に起因する当該品の不具合。
 - (4) 塗装の色あせなどの経年変化または使用に伴う摩耗などにより生じる外観上の不具合。
 - (5) 金属の腐食しやすい環境（海岸付近、温泉地など）に起因する不具合。
 - (6) ねずみなどの動物や昆虫が囲んだり、動物や昆虫の死骸が本商品内に残留することなど起因する不具合。
 - (7) 火災、落雷、地震、噴火、洪水、津波など天変地異または破壊行為による不具合。
 - (8) 電気製品における異常電圧、指定外の使用電源（電圧・周波数）および送電線・周辺器具など外部から発生する電磁波に起因する不具合。
 - (9) 部品（乾電池など）の消耗による不具合。
 - (10) 日常のお手入れ箇所（フィルターなど）や水抜栓などのOリングやパッキン・ダイヤフラム等の摩耗・劣化による不具合。
 - (11) 砂やごみなどの配管内流入、および水あかが固着に起因する不具合。
 - (12) 水道に関する国の基準（水道法）に定められた飲料水の水質基準に適合しない水を供給したことに起因する不具合。
 - (13) 凍結に起因する不具合。
 - (14) 本書のご提示がない場合。
 - (15) 本書にお客様名、取付日、取付店（または販売店）名、扱者印の記入のない場合。

・部品の交換について

無料修理により交換された部品・製品は、東陶機器（株）の所有となります。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。

したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、「取扱説明書」に記載のお客様相談室または東陶メンテナンス（株）にお問い合わせください。

【お問い合わせ窓口】

商品のお問い合わせは
TOTOお客様相談室へ

TEL 0120-03-1010
FAX 0120-09-1010

受付時間：平日 9:00～18:00
土・日・祝日 10:00～18:00
(夏期休暇・年末年始を除く)

補修用部品のご購入は
TOTOパーツセンターへ

TEL 0120-8282-55
FAX 0120-8272-99

受付時間：平日 9:00～18:00
土・日・祝日 10:00～18:00
(夏期休暇・年末年始を除く)

修理のご依頼は
東陶メンテナンス（株）へ

TEL 0120-1010-05
FAX 0120-1010-02

受付（年中無休）
受付時間：関東・甲信越地区 8:00～20:00
：上記以外の地区 9:00～20:00
訪問修理（年中無休）
営業時間： 9:00～18:00

東陶機器株式会社

〒802-8601 福岡県北九州市小倉北区中島2-1-1